

第118期

中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

昭和パックス株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成25年9月30日をもって当社第118期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、業績についてご報告申し上げます。平成25年12月



代表取締役社長 **大西 亮**

事業の概況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、4～6月期に続き7～9月期もGDPプラス成長が見込まれ、平成24年末に底をつけてから景気の回復傾向が持続しています。公共投資が、被災地の復興に向けた動きに加え、緊急経済対策による着工・進捗が顕現化して増勢が続きました。マインドの改善による個人消費は好調を維持し、高止まり感が出ているものの失速する気配はありません。一方で、外需は円安効果があったものの新興国の景気減速で特にアジア向けが弱い動きとなりました。

年度後半も、内需は、政策効果に加えて消費税率上げを控えた駆け込み需要が見込まれることから、堅調な動きになることが期待されます。ただ、政策による効果が民間部門の本格回復につながっていくのか、所得環境が改善されるに至って個人消費の好調がこのまま継続するかは不透明です。また、外需については、米国の金融緩和縮小などの影響で海外経済が下振れする恐れがあります。

当社グループの主要事業は国内の生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、国内が若干の減収となりましたが、タイ昭和パックス(株)が円安効果もあって大幅な増収となったことにより、売上高は9,764百万

円で、前年同期に比して133百万円の増収となりました。損益につきましては、連結子会社各社が利益を伸ばした結果、営業利益473百万円（前年同期比66百万円の増益）、経常利益554百万円（同100百万円の増益）、四半期純利益372百万円（同110百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと以下の通りであります。

○重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期比△1.1%と減少しました。その他鉱産物などの一部を除き、セメント、米麦、製粉、砂糖・甘味、飼料、化学薬品、合成樹脂など主要分野で軒並み少しずつ減少しました。時期的に見ると、4～6月期は前年同期比微減でしたが、7～9月期の減少幅がやや大きくなりました。

当社は、米麦、砂糖・甘味などの用途で数量を減らしましたが、得意の化学薬品、合成樹脂用途では逆に数量を伸ばし、全体では前年比0.5%の減少にとどまりました。

子会社の売上数量は、九州紙工(株)は前年同期比で5.9%増、タイ昭和パックス(株)の第2四半期連結累計期間（1～6月）は洪水の影響が残った前年同期と比べて8.3%増加し、山陰製袋工業(株)の当第2四半期連結累計期間（1～6月）も前年同期比で3.7%増加しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,389百万円で、前年同期に対し243百万円の増収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷数量は、前年同期比で産業用は若干の増加、農業用は減少で全体ではほぼ横ばいでした。その中で主原材料であるポリエチレン樹脂の価格が値上がりし、製品への価格転嫁が遅れたため、フィルム加工業の採算は厳しくなりました。

当社の売上数量は、7～9月でやや持ち直したものの産業用、農業用いずれも減少し、全体で前年同期比△6.3%の苦しい結果でした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,816百万円で、前年同期に対し134百万円の減収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、当第2四半期連結累計期間を通じて、除染用途などで海外からの輸入数量が前年同期を上回る状況が続いており、全体の流通量が増加していると推測されます。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、自社製品は減少しましたが、輸入販売品が増加し、全体では前年同期比+3.7%でした。大型コンテナバッグ「バルコン」は絶対数量は少ないながら、タイ昭和パックス(株)製造品の国内販売が伸びて、全体で前年同期比+39.8%となりました。また、液体輸送用の1000ℓ内袋「エスキューブ」、20ftコンテナ内袋「エスタック」は固定顧客がつき、ようやく安定的な収益を期待できる規模になってきました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は839百万円で、前年同期に対し42百万円の増収となりました。

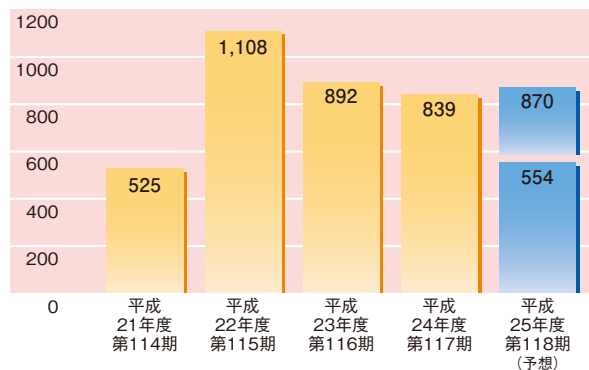
○不動産賃貸

賃貸用不動産の内容に変動はありません。倉庫賃貸契約に一部増床があり、当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して6百万円増加し、128百万円となりました。

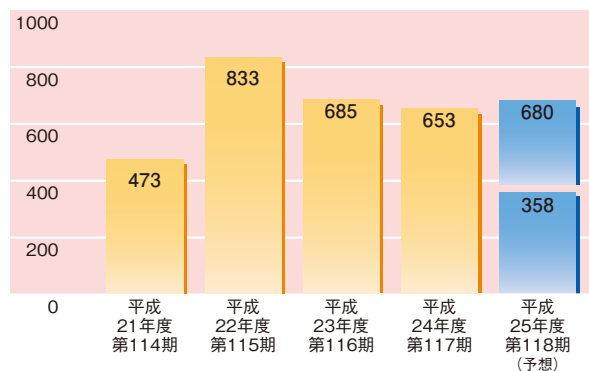
当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、連結子会社各社が順調に推移して増収増益となりました。我が国経済は中長期的には不透明さが残るものの、当面は内需主体に回復傾向が持続することが期待されます。景気回復傾向を当社グループの収益の拡大につなげるべく、新導入設備も活用して努力してまいります。

経常利益 (単位：百万円)

連結



単体



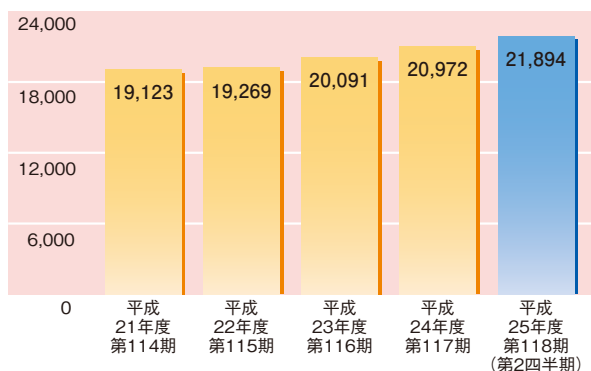
連結決算の概要

連結貸借対照表 (単位：千円)

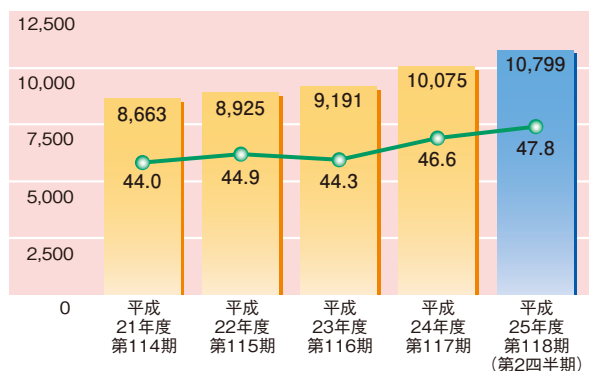
科 目	平成25年9月30日現在	平成24年9月30日現在
(資産の部)	(21,894,820)	(20,499,826)
流動資産	13,018,647	13,329,834
現金・預金	4,641,301	4,380,936
受取手形・売掛金	5,685,731	6,133,544
棚卸資産	2,257,933	2,328,882
その他	447,903	491,020
貸倒引当金	△ 14,222	△ 4,549
固定資産	8,876,173	7,169,991
有形固定資産	4,995,621	4,449,670
建物及び構築物	2,372,554	2,125,284
機械装置及び運搬具	1,255,438	1,248,370
その他	1,367,628	1,076,015
無形固定資産	54,126	39,081
投資等	3,826,425	2,681,239
投資有価証券	3,315,380	2,277,907
その他	567,241	463,719
貸倒引当金	△ 56,196	△ 60,387
合 計	21,894,820	20,499,826

科 目	平成25年9月30日現在	平成24年9月30日現在
(負債の部)	(11,095,203)	(11,151,287)
流動負債	9,026,704	9,247,684
支払手形・買掛金	4,113,608	4,921,895
短期借入金	3,246,480	2,948,720
その他	1,666,615	1,377,069
固定負債	2,068,498	1,903,602
長期借入金	628,000	799,000
その他	1,440,498	1,104,602
(純資産の部)	(10,799,617)	(9,348,538)
株主資本	9,438,951	8,908,807
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	8,516,107	7,985,963
自己株式	△ 7,502	△ 7,502
その他の包括利益累計額	1,030,427	156,059
評価差額金	956,078	283,670
為替換算調整勘定	74,349	△ 127,610
少数株主持分	330,238	283,671
合 計	21,894,820	20,499,826

総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



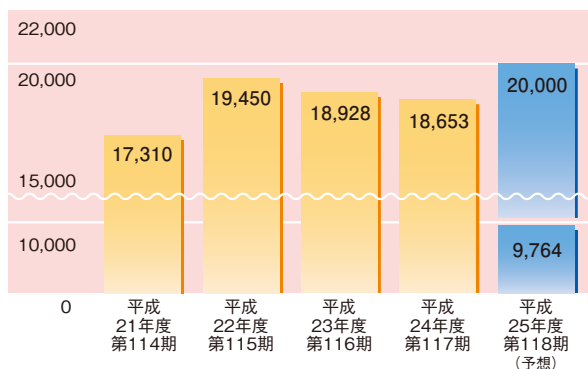
連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで
売 上 高	9,764,686	9,631,273
売 上 原 価	8,065,533	8,017,788
販売費・一般管理費	1,225,408	1,206,292
営業利益	473,743	407,192
営業外収益	111,812	79,672
営業外費用	30,614	31,970
経常利益	554,941	454,894
特別利益	200	73
特別損失	504	40,502
税金等調整前四半期純利益	554,638	414,465
法人税・住民税・事業税	169,346	148,034
法人税等調整額	380	1,167
少数株主損益調整前 四半期純利益	384,911	265,263
少数株主利益	12,390	3,480
四半期純利益	372,521	261,782

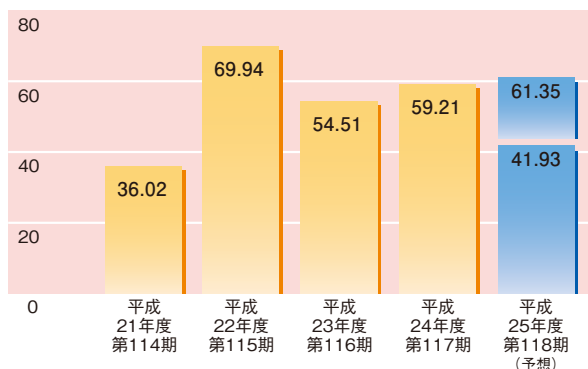
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位：千円)

	平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	871,101	787,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 428,849	△ 340,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,728	69,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,279	2,826
現金及び現金同等物の増減額	502,260	518,667
現金及び現金同等物の期首残高	3,832,537	3,571,433
現金及び現金同等物の期末残高	4,334,797	4,090,101

売上高 (単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



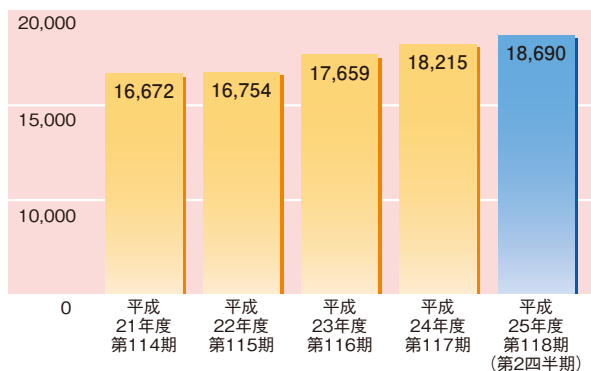
単独決算の概要

貸借対照表 (単位：千円)

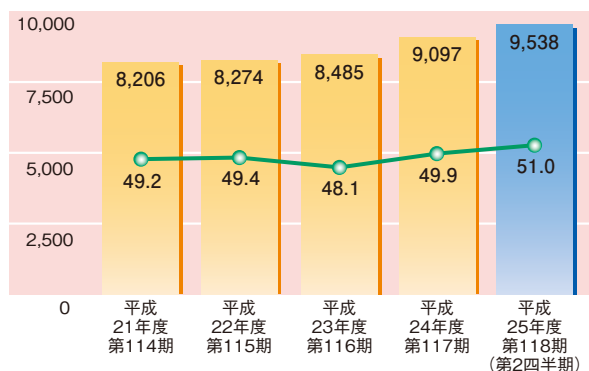
科 目	平成25年9月30日現在	平成24年9月30日現在
(資産の部)	(18,690,772)	(17,856,880)
流動資産	10,545,474	11,151,267
現金・預金	3,598,290	3,574,665
受取手形・売掛金	4,816,866	5,270,934
棚卸資産	1,720,488	1,838,715
その他	410,334	467,138
貸倒引当金	△ 506	△ 187
固定資産	8,145,298	6,705,612
有形固定資産	3,284,469	2,994,433
建物	1,706,399	1,459,923
機械装置	827,811	846,923
その他	750,258	687,586
無形固定資産	44,404	25,453
投資等	4,816,424	3,685,725
投資有価証券	3,256,527	2,224,778
その他	1,568,196	1,473,428
貸倒引当金	△ 8,298	△ 12,481
合 計	18,690,772	17,856,880

科 目	平成25年9月30日現在	平成24年9月30日現在
(負債の部)	(9,152,752)	(9,278,935)
流動負債	7,278,743	7,803,178
支払手形・買掛金	3,711,108	4,481,564
短期借入金	2,085,000	2,085,000
その他	1,482,634	1,236,613
固定負債	1,874,008	1,475,757
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	168,025	137,790
役員退職慰労引当金	125,808	101,924
その他	980,174	636,042
(純資産の部)	(9,538,019)	(8,577,944)
株主資本	8,597,280	8,304,793
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
資本準備金	289,846	289,846
利益剰余金	7,674,436	7,381,949
利益準備金	160,125	160,125
任意積立金	7,001,443	6,824,271
[配当平均積立金]	[426,564]	[426,564]
繰越利益剰余金	512,867	397,553
[当期純利益]	[226,591]	[210,226]
自己株式	△ 7,502	△ 7,502
評価・換算差額等	940,739	273,150
合 計	18,690,772	17,856,880

総資産 (単位：百万円)



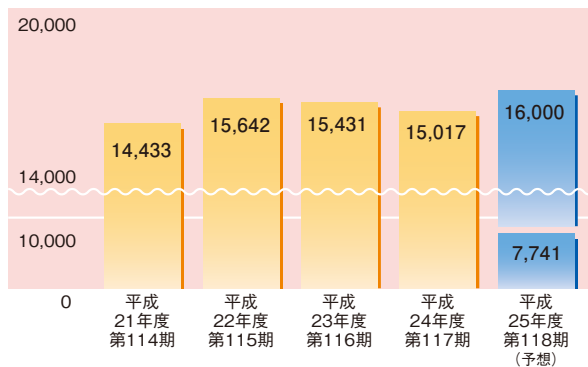
純資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



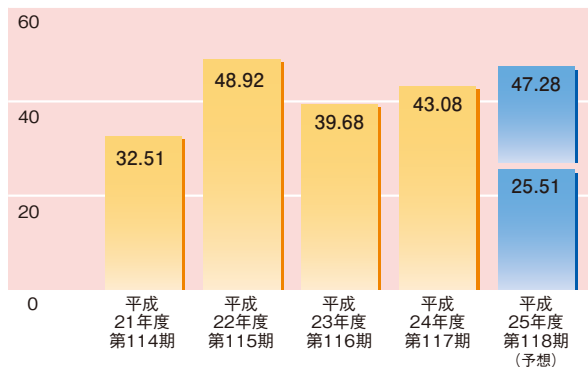
損益計算書 (単位：千円)

科 目	平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで
売 上 高	7,741,323	7,837,664
売 上 原 価	6,440,311	6,507,810
販売費・一般管理費	993,999	996,560
営業利益	307,013	333,292
営業外収益	70,050	70,129
営業外費用	18,176	22,996
経常利益	358,887	380,424
特別利益	200	—
特別損失	496	39,198
税引前四半期純利益	358,591	341,226
法人税・住民税・事業税	132,000	131,000
四半期純利益	226,591	210,226

売上高 (単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



東京工場 防府工場 新設備完成

昨年より建設をすすめていました東京工場（埼玉県北本市）の両底貼袋・片底貼袋製造設備、防府工場（山口県防府市）の中型袋製造設備が完成しました。今後も一定の需要が見込まれる食品用途袋のシェアを増やすとともに、西日本での中型袋需要にこたえる事で売り上げの増加をはかります。



東京工場新工場



防府工場新工場



防府工場新倉庫

社長交代

経営トップの若返りを図り、経営体制の一層の強化・充実をはかるため、大西亮が代表取締役社長に就任いたしました。

尚、前代表取締役社長 河野弘征は、代表取締役会長に就任いたしました。



代表取締役会長

河野弘征



代表取締役社長

大西 亮

■設立

昭和10年12月20日

■資本金

6億4,050万円

■主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

■役員（取締役および監査役）（平成25年9月30日現在）

代表取締役会長	河野弘征	
代表取締役社長	大西亮	
常務取締役	白方茂樹	営業本部長
常務取締役	土田隆夫	タイ昭和パックス㈱ 代表取締役社長
常務取締役	平野正春	生産本部長
取締役	花山宜久	㈱ネスコ 代表取締役社長
取締役	飯崎充	管理本部長
常勤監査役	佐藤隆	
監査役	藤岡貞章	㈱サンエー化研 常務取締役
監査役	鈴木直樹	新生紙パルプ商事㈱ 常勤監査役

※藤岡貞章氏および鈴木直樹氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

事業所

本 社	〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番12号 電話 03(3269)5111
支 店	大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)
工 場	東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、 盛岡(岩手)、掛川(静岡)
子 会 社	九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業 (島根)、山陰パック(島根)、昭友商事(東京)、 タイ昭和パックス(タイ王国)

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
期 末 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日	9月30日
基 準 日	定時株主総会については、3月31日 その他定款に定めがある場合のほか、 必要があるときはあらかじめ公告 する一定の日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お 取 扱 窓 口	お取引の証券会社等。特別口座管理 の場合は、特別口座管理機関のお取 扱店。
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 本店および全国各 支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
単 元 株 式 数	1,000株
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載